



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.41 / 2009 年 12 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第 41 号をお届けします。

今回は、アンテナの歴史委員会主催講演会開催の報告、2010 年 3 月 AP 研オーガナイズドセッション、ISAP Archives の立ち上げのお知らせです。

【1】アンテナの歴史委員会主催講演会開催の報告

2009 年 10 月 8 日静岡大学で開催されたアンテナ・伝播研究会において、「無線雑感」と題し、東北学院大学塩川孝泰教授(前アンテナの歴史委員会委員長)によるアンテナの歴史委員会主催講演会を行いました。当日は台風 18 号が開催地を直撃し、この影響で交通が大幅に乱れていましたが、多くの皆様にお越しいただきました。講演内容は先生ご自身の研究歴を振り返りながら、若手および中堅研究者への応援を込めたものであり、大盛況でした。当委員会では今後もこのような講演会を計画しており、その際はアンテナ・伝播研究会 HP でお知らせしますので是非ご参加ください。



【2】2010 年 3 月 AP 研オーガナイズドセッション

AP 研では 2009 年 9 月より、今後の研究で注目されるテーマや異分野との研究テーマを議論するオーガナイズドセッションを開催しております(<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>)。2009 年 9 月の「近傍電磁界の結合による無線電力伝送技術」、11 月の「局間連携および分散アンテナに関する諸技術」、2010 年 1 月の「電磁波の医療・生体応用技術」に続き、3 月の AP 研(埼玉大学, 3 月 8 日)では、「放送用アンテナ」について、オーガナイズドセッション(オーガナイザ: 正源和義, 田中祥次)を企画しました。

放送用アンテナは、中波、短波、VHF、UHF、マイクロ波、12GHz 帯、ミリ波まで幅広い周波数を対象にし、放送に加え、番組素材伝送、中継回線、さらに電波を用いたテレビカメラと多くのアプリケーションを持っています。メディアも地上と衛星の回線があります。放送分野では、2011 年のテレビ完全デジタル化に向けた準備とアナログ地上、衛星放送で空いた周波数の利用の研究が進んでいます。そこで本セッションでは、最新の放送用アンテナに関連する発表を募集し、当該分野および関連分野が一層発展するための技術課題や展望などを議論することを目的とします。4、5 件程度の発表が予定されておりますので、奮ってご参加ください。

【3】ISAP Archives の立ち上げ

通信ソサイエティ ISAP 国際会議委員会では、今までの ISAP の原稿を閲覧可能なアーカイブ、ISAP Archives を立ち上げました。現在、2007 年以前に開催された全ての ISAP の論文を閲覧することができます。AP-NET などでも案内をすでにさせていただいております。

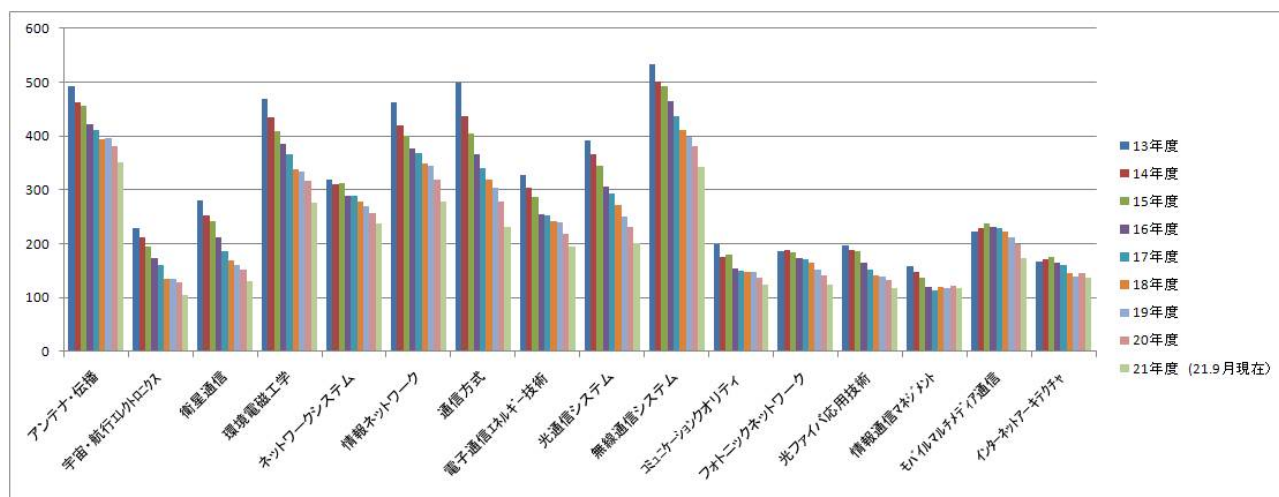
URL : <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

また、AP 研ホームページでもトップページにリンクをはっておりますので、是非、ご活用ください。

【4】AP 研副委員長の戯言

11 月の AP 研は東京工業大学で RCS 研との共催/併催で開催されました。初日は、両研究会の共催で、佐和橋教授と鈴木教授の移動通信、干渉キャンセルなどの招待講演があり、大きな部屋で立ち見が出るほどの盛況でした。2 日目は東工大 安藤教授のアンテナ・伝搬研究をとりまく国際状況に関する特別講演があり、現在の政治、経済で起きている状況が学会での活動にも影響していることを知りました。また、日本の学会の経理も米国などのように総合的に透明にすべきとの意見を伺いました。

さて、下記のグラフは通信ソサイエティの各研究専門委員会の平成 13 年度から平成 21 年度(9 月現在)までの技術報告購読数の推移を示しています。このグラフから、どの研究専門委員会も技術報告の購読数が年々減少していることがわかります。アンテナ・伝播研究専門委員会も例外ではありません。近年、電子情報通信学会の学生会員、特に企業会員の大幅減少が問題になっています。この対策として、信学会理事会企画室が中心となって CEATEC との連携を検討しています。これは、CEATEC を企業会員へ学会の魅力を訴求する機会ととらえ、各研究専門委員会に関連する企業非会員に魅力ある企画を考えてもらおうというものです。通信ソサイエティでは、既に、フォトニックネットワーク研専と新世代ネットワーク研専が前向きに検討しています。企業会員が減少しているのは経済的不況も影響していると思いますが、企業の AP 研関係者の皆様には、AP 研技術報告の定期購読を推進していただきますようお願いいたします。



〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 正源和義(NHK)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org

AP-NET : AP 研の最新情報を毎月メールにてお届けします！！登録は AP 研 HP にて

AP 研 HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

